

雲のとぶ鴈のは風に月さえて鳥羽田の里に衣うつ也

〔山城名勝志十六〕石原郷今吉詳院村南島村北有石原村桂川東也○中略

佐比略○中

三鈿寺雜々文書云略○中紀伊郡司解權大納言殿御領石原田島

合田島六拾伍町七段佰八十步此内在常荒川原石原郷十條下石原西佐里 十一條下佐比里 十二條

上左比里

長元六年三月十日

刀彌左督長調仕 郡司上勝

〔小馬命婦集〕いしはらにすむをとこ久しくきこえねばとて

いと、しくもえこそわたれいしはらの中よりわれて出づる思ひは

〔菟藝泥封四上〕深草。東は小栗栖西は竹田北は稻荷南は伏見の邊も皆深草のうちなりとかや

山口野有里有

〔山州名跡志十二〕深草所名 在稻荷南 但今云フ所ハ於深草ハ北界也其中央ハ此ヨリ六七

町南ニ至ル凡東ハ谷口山ヲ限リ西ハ竹田大路ヲ限リ南ハ伏見領墨染ノ南四五町ヲ限ル也深

草ハ郷總名ニシテ中ニ別名アリ

〔日本紀略桓武〕延暦十一年八月丙戌禁葬埋山城國深草山西面緣近京城也

〔古今和歌集十六〕ほりかはのおほきおほいまうちぎみ藤原基經身まかりにける時にふか草の

山におさめてけるのちによめる、
かむつけのみねを

深草の野邊の櫻し心あらばことしばかりはすみぞめにさけ

〔三代實錄六〕貞觀四年十月七日壬寅正三位行中納言兼民部卿皇太后宮大夫伴宿禰善男奏言

略○中請捨山城國紀伊郡深草郷別墅爲道場賜額報恩然則名之與實自將相副上答聖主覆載之恩